

<p>【技術の名称】 SSパイル工法 —少排土セメントミルク杭状補強体を用いた地盤補強工法—</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-31号（更2） 性能証明発効日：2024年2月8日 性能証明の有効期限：2027年2月末日</p> <p>【取得者】 株式会社ドリームテック</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、掘削装置を所定の深度まで回転圧入した後、引上げながらセメントミルクを充填することで、少排土でセメントミルクの柱状体を築造し、これを杭状地盤補強体として利用する地盤補強工法である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強体の支持力のみを考慮することとしている。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-31号（2018年2月9日）
更新：GBRC 性能証明 第17-31号（更1）（2021年2月1日）
GBRC 性能証明 第17-31号（更2）（2024年2月8日）

【技術開発の趣旨】

小規模建築物に採用されている地盤補強工法のうち、セメント系固化工材による地盤改良工法では、品質確保や施工時の残土の処理などが問題となっている。本技術は、これらの問題を解決するために開発したものであり、独自形状の掘削装置を用いて少排土で造成した柱状孔にセメントミルクを充填することで、品質の安定した柱状地盤補強体の築造が可能である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強体の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。
申込者が提案する「SSパイル工法 設計・施工指針」に従って施工された補強体の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同指針に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

○掘削装置の形状

本技術で使用する掘削装置の構図を図1.1 図1.2に、その写真を写真1に示す。

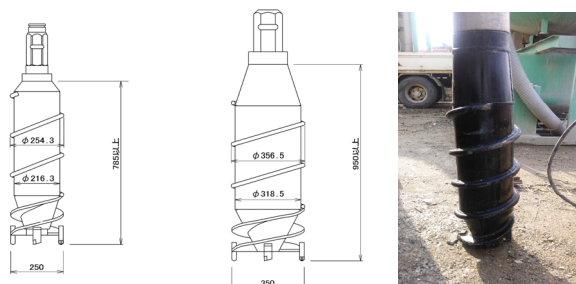


図-1.1 SSパイル工法掘削装置φ230 図-1.2 SSパイル工法掘削装置φ320 写真-1 SSパイル工法掘削装置

○適用範囲と主な仕様

本技術の適用範囲と主な仕様を表1に示す。

表-1 SSパイル工法適用範囲

適用構造物	小規模建築物、 2.0m以下の擁壁及び看板等の小規模な工作物
掘削装置	SSパイル規定掘削装置(写真1.1 図1.1、図1.2)
周面地盤	砂質土、粘性土
先端地盤	砂質土、粘性土
最小補強体長さ	1.5m
最大施工深さ	10.0m
補強体径	φ230mm、φ320mm
混和剤、配合量	混和剤/セメント=0.9%~1.1%
使用セメント	普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化工材
水/セメント比	65%・70%

○施工手順

本技術の施工手順を図2に示す。

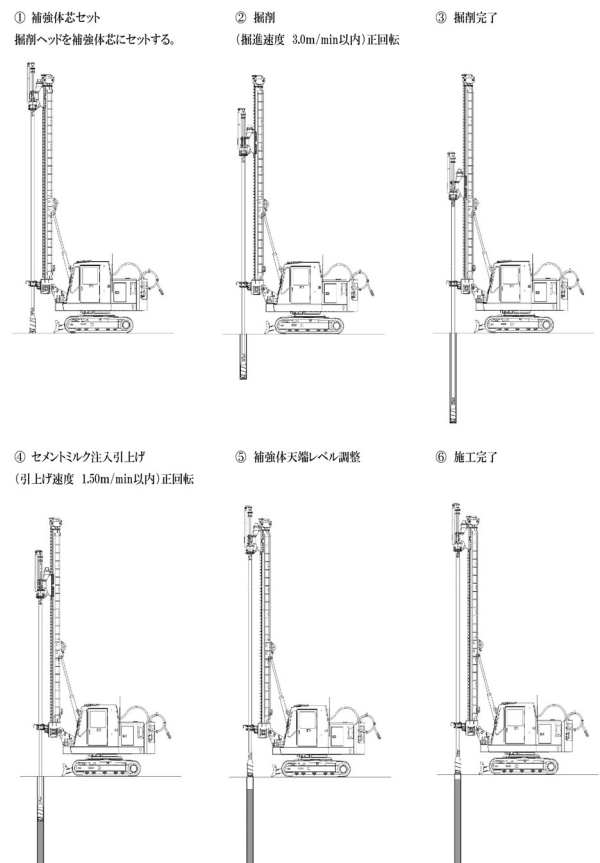


図-2 施工手順

【本技術の問合せ先】

株式会社ドリームテック 担当者：坂本 兼一
〒849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南一丁目4番19号

E-mail：office@ts-dream.co.jp
TEL：0952-20-3326 FAX：0952-27-4221